

日 時	令和5年12月19日(火) 13:30~15:20
学校名/機関名	那須塩原市立西那須野中学校
対 象	252名
講 師	大西 盛明 氏 (株式会社オニックスジャパン 代表取締役) 川嶋 健市 氏 (株式会社北研 相談役) 郡司 祐一 氏 (株式会社関東農産 代表取締役) 田村 晃 氏 (株式会社アイディ 代表取締役) 林 明夫 氏 (株式会社開倫塾 代表取締役社長) 屋代 郁夫 氏 (株式会社サンテック 取締役副社長)
内 容	<p>今回は、「社会のしくみと職業に就いての理解を深める」というテーマで、働くことについて考え始める1年生を対象に授業を行った。生徒達は自分が興味のある業種を2つ選び、2名の講師の話聞いた。</p> <p>大西氏は、自社の製品や、麺づくりの工場のラインを写真や動画を使って分かりやすく説明していた。また、会社では製麺をするだけでなく、社員やお客様が元気になれるようなイベントを開いていることも説明し、生徒達は会社についての理解を深めていた。</p> <p>川嶋氏は、自身が営業職を務めていた時の経験から、人とコミュニケーションをとることの大切さや、失敗してもやり直せること、可能性はいくらでもあることを生徒達に伝えていた。</p> <p>郡司氏は、野菜の花や葉を画面に映して、「なんの野菜でしょう？」とクイズをし、生徒達を惹きつけていた。また、大谷翔平の「マンダラチャート」を用いて、目標設定と、それに向けた努力の大切さを説いていた。</p> <p>田村氏は、広告やウェブサイトの作り方が、時代と共に変わってきていること、会社は、その時代の流れに乗ることが大切だということ、自社の製品を見せながら説明しており、生徒達は仕事に必要な事を学んでいた。</p> <p>林氏は、用意したワークシートに自信の興味のある仕事を記入させ、その仕事の「お客様」は誰かを考えさせた。どんな仕事にもお客様がいて、そのお客様のニーズに応えることが「仕事」だということをつかりやすく説明していたため、生徒達は納得したようにならずにいた。</p> <p>屋代氏は、自らが多くの国で勤務してきた経験から、その国の文化や言語を学ぶことが、自身の人生に大いに役立っていることを話した。そして、今中学生の生徒達が学んでいることは全て、人生の役に立つということを語り、生徒達にエールを送っていた。</p> <p>今回の授業で、様々な経営者の話を聞き、生徒たちは社会や職業についての理解を深めることができた。また、どの講師も「努力をすることが大切」という話をしていた。生徒達には、将来の目標に向かって頑張ってもらいたい。</p>

